



中国では“腎茶”とも呼ばれる
泌尿器系トラブルケアの「ネコノヒゲ」ハーブ

クミスクチン

Kumis Kucing



クミスクチン Kumis Kucing

概 要	クミスクチンは、インドネシア語やマレー語でネコ (kucing) のヒゲ (kumis) という意味で、おしべやめしべが長く伸びた様子が、ネコのヒゲに似ていることに由来しています。インドネシア発祥の伝統医療ジャムウでは腎炎、むくみ、高血圧などに用いられています。また、中国でも同様に猫鬚草と呼ばれる他、腎茶とも呼ばれ、その名の通り、腎炎、膀胱炎、尿路結石などに用いられています。ヨーロッパには植民地時代などを経て伝えられ、主に葉を健康茶や利尿薬の原料とする他、一部の国の薬局方にも収載されています。日本は、大正時代に沖縄に導入され、1960年代頃より事業として栽培されるようになり、同様の症状に対して民間薬や健康茶として用いられてきました。
基 原	<i>Orthosiphon spicatus</i> (= <i>Orthosiphon aristatus</i>) (シソ科)
使用部位	主に全草(特に地上部)が用いられています。
食薬区分	クミスクチンの全草は「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料リスト)」に掲載
主な成分	rosmarinic acid, orthosiphol A, methylripariochromene A, sinensetin、カリウムなど
臨床研究	高血圧、腎結石に対する効果が報告されています。
薬理研究	利尿作用の他、腎・尿路結石、尿路感染症、高血圧、高尿酸血症・痛風、糖尿病、肥満などに対する作用が報告されています。
安全性	東南アジアやヨーロッパで古くから使用されており、日本でも沖縄で長い間、民間薬として使用されてきました。以上のことから、適切に使用すれば安全と考えられます。

製品ラインナップ (食品原料)

製品名	クミスクチンエキス末
一般名称	クミスクチンエキス
最終製品での推奨原料表示名	例)クミスクチンエキス
成分または組成	本品は、 <i>Orthosiphon spicatus</i> (= <i>Orthosiphon aristatus</i>) (<i>Labiatae</i>) の地上部を水で抽出して製したエキス末
形 状	エキス末
分 類	食品原料
1日最大摂取量	300mg
包装単位	1kg、10kg

※本資料は、一般消費者の方に対する情報提供を目的としていません。また特定の商品の効果効能をうたうものではありません。

各種製品に関するお問い合わせは…

天然物を科学し、創意工夫する。
 松浦薬業株式会社

〒466-0054
 愛知県名古屋市中区円上町24番21号
 E-mail : info@matsuura-gp.co.jp

松浦薬業 原料情報 検索

TEL (052) 883-5151